

科目ナンバー	BUA-1-012-jk			科目名	電子会計I		
教員名	成川 忠之			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	情報化社会の今日、会計情報の開示と説明責任が求められてくることから、自社の会計情報を正確に分析・把握しておくことが必要とされている。また、電子申告・電子納税や、帳簿、証券書類の電子保存などが実践段階に入り、企業において、会計の電子化は必須となっている。そのため、情報化社会に対応した知識やスキルを有する人材が要求されている。この授業では、こうした社会の要請に応えるべく、基本的な電子会計の実務を実践する知識とスキルの習得を目的としている。なお、この授業では、全員学内教室で検定試験に挑戦し、合格をもって単位取得とする。As Information Society today is required to disclose and explain Accounting Information, it is necessary to accurately analyze and grasp its Accounting Information. In addition, Electronic Filing and Electronic Tax Payment etc. enter the practical stage, and electronic conversion of accounting is indispensable in companies. Therefore, human resources who have knowledge and skills corresponding to the information society are required. In this lesson, in order to respond to these social demands, the objective is to acquire knowledge and skills to practice fundamental electronic accounting practices. In this lesson, everyone challenges the examination in the classroom and credits are given to successful applicants.						
到達目標	・領収書や請求書といった原始証憑を見て会計ソフトに入力することができるようになる。・入力終了後、会計ソフトで残高試算表(損益計算書、貸借対照表)や総勘定元帳などの電子帳簿書類を表示(出力)することができるようになる。・期末現金残高や当期純利益といった会計情報を読み取ることができるようになる。・演習を繰り返し行うことで、電子会計実務についての知識と技術を高める。5.日本商工会議所主催の電子会計実務初級検定に合格する。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力		分析し、思考する力 ○	
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	
グローバル・マインド		主体性 ○		関係を構築する力		実践的スキル ○	
教授法及び課題のフィードバック方法		コンピュータ教室において、パソコンを使った演習と講義を組み合わせで行う。検定試験に合格することが単位取得の条件となるため、各回の時間外学修に記載された内容だけでなく、合格に向けて積極的に授業時間外学修に取り組む必要がある。					
アクティブラーニング		○	サービスラーニング			課題解決型学修 ○	
受講条件 前提科目		特になし					
アセスメントポリシー及び評価方法		全員、日本商工会議所電子会計実務検定3級に挑戦する。毎回行う課題と検定試験の結果によって総合的に評価する。					
教材		・「日本商工会議所の検定試験」Webサイトで公開されている「3級(初級)公式ガイドブック(会計実務知識編)」および「初級模擬問題」・検定試験の受験料4,120円/回は別途必要。					
参考図書		・電子会計実務検定試験研究会著、『電子会計実務検定試験初級問題集 弥生会計版』、エクスメディア・日本商工会議所編集、『電子会計実務検定試験中級 公式ガイドブック 弥生会計対応版』、日経BP					
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容		オリエンテーション 電子会計の意義					
授業外学修内容		予習: 会計に対する基礎知識を確認しておく				時間数	10
2週目							
授業学修内容		原始証憑の見方と会計ソフトへの入力(商取引の基礎)					
授業外学修内容						時間数	
3週目							
授業学修内容		原始証憑の見方と会計ソフトへの入力(様々な業務データ)					
授業外学修内容						時間数	
4週目							

授業学修内容	原始証憑の見方と会計ソフトへの入力(電子会計データ)		
授業外学修内容		時間数	
5週目			
授業学修内容	電子会計情報の活用(総勘定元帳、残高試算表、損益計算書、貸借対照表)		
授業外学修内容	復習: 1日目で学んだ内容を復習して、データ入力の仕方を見直ししておく	時間数	2
6週目			
授業学修内容	電子会計情報の活用(現金残高、当期利益、在庫、その他管理項目)		
授業外学修内容		時間数	
7週目			
授業学修内容	電子会計データのバックアップとリストア		
授業外学修内容		時間数	
8週目			
授業学修内容	模擬試験問題(1)実施・・・ネット検定と同じ形式を体験		
授業外学修内容	復習: 模擬試験の結果について見直ししておくこと	時間数	
9週目			
授業学修内容	模擬試験問題(1)解説・・・基本知識の確認		
授業外学修内容		時間数	
10週目			
授業学修内容	模擬試験問題(2)実施		
授業外学修内容		時間数	
11週目			
授業学修内容	模擬試験問題(2)解説・・・応用知識の確認		
授業外学修内容		時間数	
12週目			
授業学修内容	模擬試験問題(3)実施		
授業外学修内容	復習: 模擬試験の結果について見直ししておくこと	時間数	
13週目			
授業学修内容	模擬試験問題(3)解説・・・総合知識の確認		
授業外学修内容		時間数	
14週目			
授業学修内容	まとめ		
授業外学修内容		時間数	
15週目			
授業学修内容	検定試験		
授業外学修内容	復習: 検定試験の結果を踏まえ、授業全体の内容を復習しておく	時間数	10
上記の授業外学修時間の合計		24	
その他に必要な自習時間		66	

Number	BUA-1-012-jk	Subject	Computer Accounting I			
Name	成川 忠之 (Narukawa Tadayuki)	Year and Semester	S	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>As Information Society today is required to disclose and explain Accounting Information, it is necessary to accurately analyze and grasp its Accounting Information. In addition, Electronic Filing and Electronic Tax Payment etc. enter the practical stage, and electronic conversion of accounting is indispensable in companies. Therefore, human resources who have knowledge and skills corresponding to the information society are required. In this lesson, in order to respond to these social demands, the objective is to acquire knowledge and skills to practice fundamental electronic accounting practices. In this lesson, everyone challenges the examination in the classroom and credits are given to successful applicants.</p>					